

学びの音

城下小学校 校長室だより

令和4年5月11日

みんなが喜んでくれる

「みんなが喜んでくれるから」…5月のある日、体育館や周りの通路を掃除していた4年生から返ってきた一言です。

みなさんは、前回のサッカーワールドカップの際、日本のチームを応援していた観客が、試合終了後に観客席のごみを片付けていることが話題になったことを覚えていますか？低学年の皆さんは記憶にないかもしれませんが、海外でもでもたくさんの方のニュースで取り上げられました。とりわけ、予選を突破した日本チームが、決勝トーナメント1回戦で逆転負けをした際、青いビニル袋を手に、涙をこらえながらも気持ちを強く持って、ごみを拾う姿でした。1次リーグから既に行われていた観客の清掃活動が海外のメディアに注目を浴びる中、この日の画像を公開し、その姿を称賛しました。



4月に城下小学校に来て以来、全校の皆さんが、一生懸命に掃除をする姿を見てきました。正直、ここまで丁寧に掃除をする姿に、先生も驚きました。なぜ、これほど丁寧に掃除をするのでしょうか？もちろん、「責任」ということもあるでしょう。自分で使ったもの、自分で汚してしまった所を責任を持ってきれいにする。学校は広いですから、朝から自分の

使った個所をすべて掃除することは困難です。ですから分担をして掃除する。ただ、「自分で汚した責任」というだけで掃除をしているのでしょうか。

みなさんはいかがでしょう。

昔から言われることに「来た時よりも美しく」という言葉があります。言葉通り、自分が使った場所を、来た時よりも美しくしようというものです。次にこの場所を使う人のことを考えて、気持ちよく使ってもらうように…。そういった願いが込められているものと思います。城下小学校においても、廊下を気持ちよく歩くことができるように、昇降口を気持ちよく使えるように、お客さんに気持ちよく来てもらうように…。きっとこういった気持ちで掃除をしているのではないのでしょうか。



冒頭の4年生の一言、～「みんなが喜んでくれるから」～
なんとも清々しく、温かな一言でした。